

伊藤忠グループのCSR推進のあゆみ

伊藤忠グループは、グループ社員一人ひとりが現代の社会における存在価値を十分に認識し、社会の豊かさを担う責任を果たす企業であり続けるために、CSRを推進してきました。伊藤忠商事単体から、グループ会社、サプライチェーンへと展開してきたCSR推進の、これまでのあゆみについて報告します。

伊藤忠グループのCSR推進の考え方

伊藤忠商事は7つのディビジョンカンパニーにてさまざまな事業を展開している総合商社です。当社は、CSRとは持続可能な社会へ向けて、本業である事業活動を通じて責任を果たすことであると考えています。

具体的には、CSRアクションプランを策定し、PDCAサイクルに則って実効性のあるCSRを推進しています。

グループ会社へのCSR展開

主要なグループ会社において、伊藤忠商事の手法をモデルとしてCSRアクションプランの策定を2007年度から開始しました。

- 2009年度までの展開対象グループ会社累計 48社

 CSR展開対象グループ会社一覧
<http://www.itochu.co.jp/ja/csr/itochu/group/>

サプライヤーへのCSR推進

2007年度後半から2008年度にかけて、第1回サプライヤー調査を実施し、サプライヤーの実態把握に着手しました。

伊藤忠商事のCSR推進

組織的・体系的にCSRを推進するにあたり、CSRアクションプランを策定し、PDCAサイクルに則ってCSRを実践する手法で、伊藤忠商事単体マネジメントを開始しました。(各カンパニーのCSRアクションプラン P19-34参照)

2006

2007

2008

CSRの社内浸透

- イントラネットでのCSRレポートアンケート実施
毎年、CSRレポートを全社員に配布し、イントラネットでのアンケートを実施しています。
- CSR社内啓発ビデオ制作&ワークショップの開催
2006年度 「CSRとは何か?」
2007年度 「地球温暖化と人権」
2008年度 「社会を構成する基盤事業における最上流の課題を模索する」

持続可能な社会の 実現に向けて

伊藤忠商事サプライチェーン CSR行動指針策定

2009年4月に行動指針を策定し、サプライヤーと連携したCSR推進に取り組んでいます。
(P37-38参照)

2010

2009

国連グローバル・コンパクトに参加

伊藤忠商事は2009年4月、国連グローバル・コンパクトに参加しました。
(P6参照)

伊藤忠グループ 企業理念の整理

伊藤忠グループの企業理念を整理しました。
(P5参照)

第三者との意見交換会

2008年度、2009年度と、各カンパニーのビジネス領域に見識のある第三者とCSRアクションプランに関する意見交換会を開催しました。

 第三者との意見交換会
<http://www.itochu.co.jp/ja/csr/stakeholder/meeting/>

社員一人ひとりのCSRの理解・浸透を図るため、さまざまな社内浸透施策を行ってきました。

■CSR社内セミナー

- 第1回 人権・労働問題について
- 第2回 地球温暖化と総合商社のビジネス
- 第3回 日本におけるITの社会的影響と役割を考える
- 第4回 食品の流通上のロスとリサイクル
- 第5回 生物多様性と企業の取組について
- 第6回 プロジェクトファイナンスにおける環境社会リスク評価手続きに関して

更なるCSRの進化

「カンパニーのCSRを考える ワークショップ」開催

更なるCSRアクションプランの質の向上を目指し、CSR推進担当者のCSRに対する理解を深めることを目的とした、ワークショップを開催しました。
(各カンパニーページP19-34参照)

CSR推進基本方針

真の世界企業になるためには、経営システムをグローバルに通用するものに進化させ、グローバル社会の要請であるCSRを経営計画に組み込む必要があります。伊藤忠商事では経営計画策定にあわせてCSR推進基本方針を定めており、経営計画と連動したCSRをグローバルに推進しています。

「Frontier[®] 2010」CSR推進基本方針

下記4項目それぞれにつきグローバルに推進

1. ステークホルダーとのコミュニケーション強化
2. 商品・サービス・人の安全と安心の徹底・向上
3. CSRに関する教育・啓発
4. サプライチェーンマネジメントの強化
(人権の尊重)

+

環境活動基本方針*

*CSRの重要課題である環境については、別途定める環境活動基本方針に則って推進しています。